



# 「減量」をして「原料」に 発想の転換が道を開く

「ごみになるものを再利用して資源に変える。「減量」によって生まれた資源を「原料」とする循環型社会は、限りある資源を節約する有効手段です。「捨てれば死源、生かせば資源」、ごみ減量の糸口は、発想の転換にありました。



分別され廃品業者に売られるペットボトル(上写真)やアルミ缶など(下写真)

## キーワードは「リサイクル」

久慈市夏井町にある粗大ごみ処理場。ここではペットボトルや缶類、ガラス瓶、ダンボールや発砲などのリサイクルが行われています。同処理場技術管理者の前川秀光さんは「回収された鉄やアルミが少しでも収入になるように努めています。でも、缶類でアルミとスチールが混ざっていると、分別する作業が増えます。その分は当然人件費も膨らんでいきます。皆さんの協力があつて、無駄なお金がかれます」と話し、「自転車などまだ使えるモノがたくさん搬入されてきます。この現状を皆さんに見ていただきたいです」と付け加えました。右下の表1をご覧ください。県内の

リサイクル率ベスト5です。パーセントが高いほどリサイクルが進んでいることになり。県内1位は紫波町。リサイクル率は41.5%、リサイクル量も138.7キログラムです。村は35市町村

■表1 県内のリサイクル率と年間リサイクル量ベスト5

順位	市町村名	リサイクル率	1人当たりのリサイクル量
1	紫波町	41.5%	138.7
2	矢巾町	29.2%	133.0
3	葛巻町	29.1%	80.9
4	住田町	28.0%	66.7
5	滝沢村	25.9%	88.5
29	普代村	13.1%	34.6
県平均		18.4%	68.7

県資源循環推進課調べ(H17年度)



役場で行われている古紙などのリサイクル

中29位で低い方に位置します。紫波町町民課生活環境室の熊谷信主氏は「町では平成13年に『循環型まちづくり条例』を策定し、行政と町民が協働で減量化やリサイクルに取り組みできました。リサイクル率が高い理由は、自治会や子供会での資源ごみの回収や、各家庭や飲食業者も巻き込んでの生ごみの堆肥化も進んでいることが挙げられます。長年の成果だと思えます」と話していました。

## 「できることから始めよう」

村でもさまざまな取り組みが行われています。役場では車庫を利用して、古新聞や古雑誌などの資源ごみを職員が持ち寄り、業者に引き取ってもらうています。観光協会ではごみのない村

を目指し、年2回クリーンアップ大作戦を行い、商工会女性部ではレジ袋を減らすためマイバッグを勧められています。今年3月に閉校した鳥茂渡小のアルミ缶を集めて車いすに換えるリサイクル活動は、地域を巻き込んだ取り組みでした。自然やモノを大切にすることを、他人や地域も大切にします。ごみを捨てるということは大切な資源を捨てること。限りある資源を大切に「原料」として生かすため、使い捨てから再利用へ。わたしたちのちょっとした工夫や発想の転換がごみ減量につながるのです。

「買い物バッグを持っていく」「缶類やペットボトル、段ボールなどの資源ごみを正しく分別する」「詰め替え用品を使う」など、日常の生活の中で、できることから始めてみませんか。

## 髙齢者叙勲

### 旭日単光章

9月1日、旭日単光章の榮譽に輝きました。



髙野富弥さん(88・茂市)

髙野さんは昭和53年から5期20年間村議会議員として、村の産業振興、福祉の向上、村勢の発展にご尽力されたほか、昭和47年から9年間行政連絡員も務められました。平成2年には県町村議会議長会会長表彰、同7年には全国町村議会議長会会長表彰を受賞しています。伝達式は9月28日、特別養護老人ホーム「うねとり荘」で行われ、深渡宏村長から髙野さんに勲記と勲章が手渡されました。

## 村に県警が賞賛状

### 死亡事故ゼロ3年間達成

死亡事故ゼロ3年間を達成した9月5日、村に県警から賞賛状が贈られました。伝達式は役場で行われ、深渡宏村長や県交通安全協会久慈支部普代分会の太田岩藏会長、交通安全母の会の金子茂

子会長ら関係者18人が出席。久慈署の及川優晴署長が「村や関係機関、住民が一体となった交通安全活動のたまもの。今後も記録を伸ばしてほしい」と深渡村長に賞賛状を手渡しました。深渡村長は「村民一丸となつて交通死亡事故ゼロ記録の更新に努めたい」と決意を新たにしました。

## 第8回 村議会議定例会



平成19年第8回の村定例議会在9月19日から21日までの3日間開かれ、一般会計と特別会計補正予算など10議案が原案どおり可決。また、18年度の決算が認定され閉会しました。主な内容は次のとおりです。

### 固定資産委員に 畠中勲さん再任

▽固定資産評価審査委員会委員の選任同意  
9月31日で任期満了になる上区の畠中勲固定資産評価審査委員(64)の写真を再任しました。



任期は10月1日から平成22年9月30日までの3年間です。

### 災害復旧にかかる 8千300万減額

▽一般会計補正予算  
補正額7千110万6千円を減額し、歳入歳出の予算総額を24億2903万5千円に

### 一般と特別会計 18年度決算認定

▽平成18年度一般会計、特別会計決算の認定  
平成18年度の一般会計と6特別会計の決算が認定されました。詳しくは、来月号でお知らせします。

### 入札の結果

▼消防資機材購入▽入札年月日：19年10月9日▽請負者：互光商事株式会社▽請負金額：242万3千円▽指名業者：互光商事(株)、細谷地(株)ダイトク